

さくら市 議会だより



令和3年5月1日

No. **65**
2021年

ちよ
うど
いい!
さくら市



SAKURA
CITY

《市民すべてが暮らしやすいと実感できる、魅力あふれる「さくら市」を目指して》



目次



- ◆ 第1・2回臨時会のあらまし…………… 2
- ◆ 第1回定例会のあらまし…………… 3
- ◆ 予算審査特別委員会…………… 4～5
- ◆ 各常任委員会(総務・文教厚生・建設経済) 6～7
- ◆ 議会のいろは…………… 8
- ◆ 一般質問ここが聞きたい……………9～17
- ◆ 議会レポート・議会の動き……………18
- ◆ どうなったんべ あの質問は……………19
- ◆ 市民の声・次回の定例会の予定……………20



コロナ対応等緊縮予算

「第1回 定例会のあらまし」

令和3年第1回定例会が2月22日から3月15日まで開催され、令和2年度一般会計補正予算等の議案24件、報告1件、諮問1件、追加議案6件、追加議員案1件を原案通り可決、同意しました。一般質問では9名が市政について問いました。

上程された主な議案

一般会計補正予算（第13号）

○都市公園管理事業費

都市公園遊具の更新、総合公園トイレの改修工事費用。



4,500万円

○小学校施設長寿命化改良事業費

押上小学校の大規模改修工事費用。



3億7,500万円

さくら市教育委員会委員の任命同意

○森島 仁 氏（櫻野）

人権擁護委員候補者の推薦

○小堀 義明 氏（柿木澤）

追加議員案第1号

○さくら市議会会議規則の一部改正について

議員の本会議や委員会への欠席事由について、育児・看護・介護・出産等を明文化するため及び請願書の提出における氏名の記載について簡略化を認めるもの。

●会議結果・賛否の公表については市HPをご覧ください。

「さくら市ホームページ→さくら市議会→定例会」

「さくら市ホームページ→さくら市議会→臨時会」



「議会だより」の配置場所 ———— ご自由にご覧ください

- さくら市役所本庁舎
- 氏家・喜連川保健センター
- 和い話し広場
- 喜連川庁舎
- さくら市ミュージアム 荒井寛方記念館
- 氏家福祉センター
- 卯の里庁舎
- 市民活動支援センター
- 喜連川社会福祉センター
- 氏家・喜連川公民館
- 道の駅きつれがわ
- 氏家・上松山・喜連川児童センター
- 氏家・喜連川体育館
- 市営もとゆ温泉
- 南小学童保育センター
- 氏家・喜連川図書館
- 市営露天風呂
- さくらテラス

ワクチン予算承認

「第1回 臨時会のあらまし」

令和3年第1回臨時会が1月18日に開催され、令和2年度一般会計補正予算議案1件を原案通り可決しました。

上程された主な議案

一般会計補正予算（第11号）

○新型コロナウイルスワクチン接種事業

新型コロナウイルス感染症に対処するため、厚生労働大臣の指示のもと、都道府県の協力により、市町村において予防接種を実施するもの。

6,996万3千円

速やかな接種に向けて

「第2回 臨時会のあらまし」

令和3年第2回臨時会が2月12日に開催され、令和2年度一般会計補正予算等の議案2件を原案通り、可決しました。

上程された主な議案

一般会計補正予算（第12号）

○検査費用助成事業

施設で働く方のPCR検査費用の助成。



障がい者施設

2,000万円

高齢者施設

2,800万円

○新型コロナウイルスワクチン接種体制確保交付金事業

新型コロナウイルスワクチン接種事業に協力してもらう病院・診療所への交付金。



1,400万円

さくら市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について

新型コロナウイルスワクチン接種事業に従事する看護師の、勤務1時間当たりの報酬額を3,000円とするため、所要の改正を行うもの。



総務常任委員会

◎小堀 勇人 ○高瀬 一徳
櫻井 秀美・福田 克之・鈴木 恒充・矢澤 功

議案第9号 さくら市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について

- Q 消防団員の報酬額等が県内で一番高い自治体及び、矢板市・宇都宮市の金額は。
- A 壬生町で金額は8万円。出動手当の支給はない。矢板市は報酬額が3万6,500円、出動手当が1回1,000円で上限なし。宇都宮市は報酬額が3万8,000円、出動手当は予防・警戒時が1,500円、火災時が3,500円で上限なし。

議案第10号 令和2年度さくら市一般会計補正予算（第13号）「所管分」

- Q 地域おこし協力隊の功績度は。
- A 地域活動の支援、PRのためのホームページの作成や、菜っ葉館の運営に携わってもらっている。菜っ葉館では、ふるさと納税の野菜の返礼品に、野菜の特徴やおいしい食べ方を書いたお品書きを同封するなどの工夫で、リピーター獲得に貢献している。

議案第23号 鍛冶ヶ澤辺地、上河戸辺地及び南和田辺地に係る総合整備計画の策定について

- Q 南和田辺地の総合整備計画は4年間であるが、鍛冶ヶ澤辺地・上河戸辺地は単年度で終了なのか。
- A 鍛冶ヶ澤辺地と上河戸辺地で現在予定している工事は1件ずつで、単年度で終了する。新たな事業があれば、改めて整備計画を策定して提出する。

議案第24号 松島辺地、下河戸北辺地及び穂積辺地に係る総合整備計画の変更について

- Q 具体的な変更点は。
- A 松島辺地については、古川堰改修事業を新規で追加。下河戸北辺地については、さくら市消防団第7分団第2部詰所の起債額を2,800万円から3,100万円に増額、また同じく市道K2003号の起債額を2,900万円から2,700万円に減額。穂積辺地については、穂積船沢農道の起債額を490万円から950万円に増額するもの。

文教厚生常任委員会

◎岡村 浩雅 ○吉田 雄次
加藤 朋子・若見 孝信・渋井 康男・手塚 定

議案第1号 さくら市印鑑条例の一部改正について

- Q 性別の記載を廃止するのは、印鑑条例だけか。
- A 印鑑条例の印鑑登録証明書だけである。

議案第2号 さくら市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

- Q 3万7千人に2回接種すると、約200日が必要となる。開業医等での個人接種も考えていかないと完了できないのではないか。
- A 新たなワクチンが承認されれば個別接種も可能になる。

議案第4号 さくら市国民健康保険税条例の一部改正について

- Q 賦課額の最高額は99万円になるのか。
- A そうである。

議案第5号 さくら市介護保険条例の一部改正について

原案通り可決

議案第10号 令和2年度さくら市一般会計補正予算（第13号）「所管分」

- Q きつれがわ幼稚園の建替えについて、補助金の減額の理由は。
- A 当初予算では事前協議による概算額で計上していたが、その後の設計等の変更に伴い保育園部分の補助金の額が減額となった。

議案第12号 令和2年度さくら市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

- Q 高額医療の最高額の方はどのくらいか。
- A 500万円以上の方は、平成29年度が4人であわせて2,728万円、平成30年度が6人で3,639万円、令和元年度が6人で4,339万円、今年度12月までが4人で2,241万円である。最高額は1,000万円の方も1人いた。

議案第13号 令和2年度さくら市介護保険特別会計補正予算（第4号）

- Q インセンティブ交付金の判断基準は。
- A 50の評価項目があり、取組んでいる内容で変わってくる。例として専門職を集めた会議、他職種の交流などがある。現在は取組み状況に応じてだが、今後は成果重視に変わってくる。

陳情第2号 介護サービス費用負担軽減に関する陳情書

継続審査 理由：引き続き調査、研究を続ける必要がある。

陳情第4号 さくら市ゲートボール場の整備に関する陳情について

採択 理由：総合公園の全体整備が進められている中で、1施設だけ未整備で残すことはできない。ゲートボール愛好家は健康管理に留意し、交流を深めながら、切磋琢磨し競技を続けているため。

建設経済常任委員会

◎石原 孝明 ○笹沼 昭司
大河原 千晶・永井 孝叔・石岡 祐二・角田 憲治

議案第8号 さくら市営住宅管理条例の一部改正について

- Q 草川G住宅の廃止に伴う土地の利用は。
- A 公募により売却し、現在は民間による宅地分譲地となっている。

議案第10号 令和2年度さくら市一般会計補正予算（第13号）「所管分」

- Q 農業次世代人材投資事業の対象となる年数及び交付停止となる要件は。またどのような作型で多いのか。
- A 経営を開始してから最長5年間で年間最大150万円を交付するが、前年所得が350万円以上になると、翌年の交付が停止となる。イチゴなど高収益作物栽培で交付停止となる例が多い状況である。

議案第11号 令和2年度氏家都市計画事業上阿久津台地土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）

- Q 本事業の現在までの予算総額は。また、一般会計からの繰入金の総額はいくらか。
- A 平成10年度に事業認可を受け、当初の資金計画では総額70億円の計画でスタートした。その後5回の事業計画変更を行い、現在の資金計画では総額約82億円となっている。一般会計からは例年1億から2億円程度の繰り入れを行っており、令和元年度末で約38億円の支出となっている。

議案第14号 令和2年度さくら市下水道事業会計補正予算（第3号）

原案通り可決

感染拡大防止の観点から、現地調査は自粛しました。

議会のいろは

議会にはいろいろな委員会がありますが、今回は「議会運営委員会」について紹介します。

議会運営委員会

議会運営委員会とは

年4回開催される定例議会をはじめ、臨時議会の開催日程の調整、本会議の進行の確認などを行います。

常任委員会や特別委員会と性格的に違う点は、案件の内容ではなく、運営について決定する機関です。



① 栃木県内でいち早く、議会会議規則を改正しました。

「事故のため」 → 「公務、疾病、育児、看護、介護、配偶者の出産補助」
「押印」 → 「署名または記名押印」

追加議員案第1号

さくら市議会会議規則の一部改正について

上記の議案を、別紙のとおり地方自治法第112条及びさくら市議会会議規則第13条の規定により提出します。
令和3年3月15日提出

提出者 さくら市議会議会運営委員会
委員長 若見 孝信
賛成者 副委員長 福田 克之 委員 岡村 浩雅 委員 永井 孝叔 委員 石岡 祐二 委員 鈴木 恒充

さくら市議会会議規則の一部を改正する議会規則

さくら市議会会議規則（平成17年さくら市議会規則第1号）の一部を次のように改正する。

第2条第1項中「事故のため」を「公務、疾病、育児、看護、介護、配偶者の出産補助その他のやむを得ない事由のため会議に」に改め、同条第2項中「のため」の次に「会議に」を加え、「日数を定めて」を「出産予定日の6週間（多胎妊娠の場合にあっては、14週間）前の日から当該出産の日後8週間を経過する日までの範囲内において、その期間を明らかにして」に改める。

第89条第1項中「事故のため」を「公務、疾病、育児、看護、介護、配偶者の出産補助その他のやむを得ない事由のため委員会に」に改め、同条第2項中「のため」の次に「委員会に」を加え、「日数を定めて」を「出産予定日の6週間（多胎妊娠の場合にあっては、14週間）前の日から当該出産の日後8週間を経過する日までの範囲内において、その期間を明らかにして」に改める。

第136条第1項中「請願書の住所及び氏名」を「及び請願者の住所」に、「代表者の氏名」を「所在地」に、「が押印」を「（法人の場合には、その代表者）が署名又は記名押印」に改める。

附 則 この議会規則は、公布の日から施行する。

② 新型コロナウイルス感染防止の観点から一般質問を1問に限定し、質問・答弁あわせて30分以内としました。また、中央席の議員は、傍聴席へ移動しました。



今回の一般質問は、コロナ拡大防止の観点から1問に制限しました。

■ 一般質問ここが聞きたい



石原 孝明 議員



QRコード
(動画配信)
YouTube

Takaaki Ishihara

新型コロナ禍における農産物の消費減少について

▶ 儲かる農業、魅力ある農業の確立

Q コロナ禍で本市において減収が見込まれる生産者への対策はあるのか。

A 本市支援策第1弾は、令和2年5月から12月までコロナの影響による減収幅が20%から50%未満を対象に、上限30万円まで10件に給付。また、畜産35経営体、酪農3経営体、花卉9経営体は、50%以上の減収が国の給付対象となったもよう。

さらに本市支援策第2弾は、10%以上減収した農業者へ、法人30万円、個人20万円を上限に給付する。また国の対策で、農業者が経営計画に基づき機械施設を導入する場合に補助金3/4、上限100万円。感染拡大防止の取り組みに、上限50万円の経営継続補助金の申請支援をJAと連携し行った。



持続化給付金によるオフセットモア

Q 国は高収益作物への推進を掲げているが、本市としての取り組みは。

A 国は、主食用米と同等の収益が得られる制度設計、低コスト生産等の取り組みを行う農業者を支援する、水田リノベーション事業を新設する。本市の露地野菜推進事業は、令和2年度から県の推奨作物であるネギの新期作付や規模拡大に対し、令和3年から露地野菜全般を対象にソフト事業が定額で上限30万円、機械等ハード事業補助率50%、上限100万円とする制度設計を行っている。

Q 農業者の高齢化で、5年間で従事者が2割減少したが、対策は考えているのか。

A 減少はしているが、離農や経営転換に伴って中心的な担い手に農地集積し、経営が効率化した現れと捉えている。しかし農業者の減少によりコミュニティが希薄化し、草刈や水路の維持管理ができず環境が悪化している。それに対し、多面的機能支払交付金事業の取り組みは大変有効と考え、支援していく。



出荷を待つ主食用米

一般質問ここが聞きたい



櫻井 秀美 議員



Hidemi Sakurai

コロナ禍における生活様式の変化にどう対応していくか

▶人とのふれあいを重要な課題と捉えている

Q リモートワーク増加により移住者の増加も見込め、空き家対策と人口増のダブル効果が期待できると考えるが。

A Wi-Fi環境を整え、リモートワーク、ワーケーションを体験してもらい、積極的な移住・定住推進施策に取り組む。

Q フィオーレ喜連川などは通信網の完備で、仕事と趣味、観光を兼ねた定住環境促進ができると思うが。

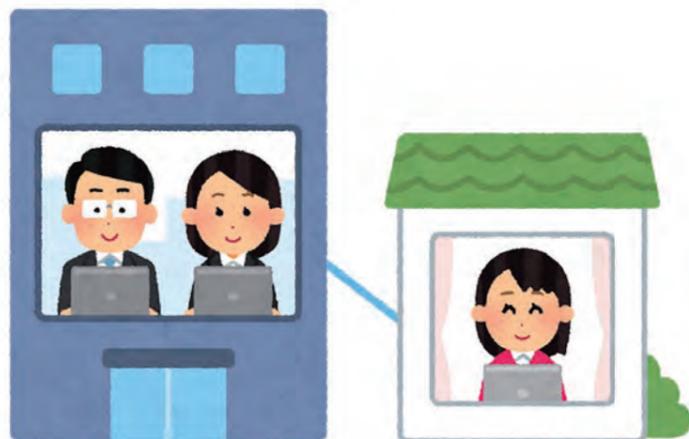
A 移住・定住は進めたいが、具体策は手探り状況。今後、関係者などとの意見交換に取り組み、有効な手立てがあれば積極的に取り入れていく。

Q コロナ禍において、人との交流が減少し生活サイクルの悪化が顕著になりつつある現在、どう対応していくか。

A 独居高齢者や高齢者のみとなる世帯を対象として、3人の生活支援コーディネーターと認知症地域支援推進委員が、生活状況や困りごとについて電話により調査を実施し、必要あるいは役に立つ情報の提供に取り組んだ。

Q コロナ禍において密を避けた観光が必須となりつつある。オリジナルな観光を立案していくべきでは

A 自然豊かで大都市との移動も丁度いい距離にある本市に一定期間滞在して、ワーケーションを楽しむ取り組みが展開できないか、ゴルフ場や宿泊施設の関係者と意見交換を始めたところである。積極的な情報提供をして、最大限の協力、支援を検討していきたい。



岡村 浩雅 議員



Hiromasa Okamura

市内取水場近隣住民に対する井戸水枯渇への対応策について

▶原因は地下水位の低下によるものと推察される

Q その後の調査内容、結果について。

A 令和2年2月より、取水場から近隣に3か所、北に70m、東に50m、南に60mの観測井戸を設置し、9号取水場の稼働状況と地下水位の変動を外部委託により計測している。約1年間を通じて観測した結果、9号取水場による取水によって、観測井戸の地下水位に大きな隔たりはなかった。さらには、直近1週間程度は完全に9号取水場の稼働を停止したが、数cmの変動があるものの著しい水位の回復等は認められなかった。なお、この水位の観測は、9号取水場の運転パターンを変えながらさらに1年間の調査を実施する予定である。

Q 調査結果によっては、住民への井戸掘り直しの費用負担、市水道加入金免除の措置が必要と考えるがその考えはあるか。

A 水道事業の公共性、公平性の観点や対象範囲の判断基準からも大変困難である。



設置された観測用井戸（おおぞら保育園北）



第9号取水井戸（おおぞら保育園敷地内）

一般質問ここが聞きたい

一般質問ここが聞きたい



永井 孝叔 議員



QRコード
(動画配信)
YouTube

Takayoshi Nagai

新型コロナウイルス感染症対策について

▶ワクチン接種に全庁体制で臨む

Q 接種体制の整備状況、スケジュールは。

A 氏家公民館を集団接種会場とし、全館を使用するため当面休館とする。医師の確保については、1日あたり3名程度の確保に向けて、市内各医療機関で調整中であり、接種会場に必要な13~15名の看護師の確保の見通しもついたところである。

市内の医療従事者の接種は3月初旬から黒須病院、氏家病院、さくら産院の3医療機関で実施の予定である。集団接種は、4月から*65歳以上の高齢者向けを予定している。接種完了について国は9月頃迄を見込んでいるが、今後のワクチンの供給量の見通しが確定できておらず、進行に遅滞が予想されるなど、課題の多い状況となっている。

Q コロナ禍の中での市内事業者や医療機関への支援策は。

A 時短営業協力金の支援対象外の飲食業、国の一時金制度の対象にならない中小事業者、個人事業者、農業者で10%以上収入が減少している場合に、法人では上限30万円、個人事業主では上限20万円を、『地元事業者等緊急支援助成金』として交付する。また『緊急経済対策特別資金』を創設し、金融機関ならびに商工会と連携して2,000万円まで貸付を行い、融資枠は15億円、保証料を全額補助するだけでなく、3年間は利子も補給する。

ワクチン接種に協力する医療機関に対して新たに『新型コロナウイルス感染症ワクチン接種体制確保交付金制度』を創設し、接種会場に医師を派遣する診療所には30万円を、医療従事者等への接種を行う病院には100万円を、集団接種での救急患者を受け入れる病院には500万円を交付するものである。



ワクチン接種シミュレーションの様子

*2月24日時点での予定であり、その後3月23日付で下記の通り変更になりました。

対象年齢	第1回目接種	第2回目接種
85歳以上に接種券発送後、ワクチン供給量を踏まえ、年齢順に段階的に接種券を発送	4月28日(水)	5月19日(水)
	5月9日(日)	5月30日(日)
	5月16日(日)	6月6日(日)
	5月23日(日)	6月13日(日)
	6月2日(水)	6月23日(水)



高瀬 一徳 議員



QRコード
(動画配信)
YouTube

Kazunori Takase

氏家駅東地区まちづくり計画について

▶中心地の未来を左右する、市の最重要課題である

Q さくら市が思い描く駅東地区の未来とは。

A さくら市都市計画マスタープランに併せて本庁舎、JR氏家駅周辺地区を活動中心拠点の都市核と設定。商業・医療・公共公益施設・公共交通など多様な都市機能を生かした暮らしを楽しめる小都市の中心地づくりに努める。

Q 範囲設定と計画の策定は。

A 5つの行政区、栄町・石町・上町・横町・新町が含まれ、令和2年10月1日現在、1,017世帯、人口2,605人。琴平通りを中心に、駅周辺の魅力向上に繋げる適切な整備が求められ、駅を起点とした半径500mを立地適正化、都市機能誘導地域とする。半径1km圏をさくら市進化プラン、氏家豊かな暮らしゾーンと想定。駅周辺の魅力向

上及び将来に向けて整備に取り組んでいきたい。

Q 住民へのアンケート送付と結果は。

A 256名に送付し回収率は53.6%。回答者の76.7%が60代~80代、内52.2%が1~2名住まい。生活環境の満足度は48.9%が「満足」から「普通」、賑わいについては60.9%が「やや不満」から「不満」、住み続けたいが70.0%。

Q 道路整備(都市計画道路)の考えは。

A 計画策定から60年が経過、具体的な道路整備は未着手のままである。昨今の情勢から整備の実現性が高まっていると感じている。住民の皆様と意見交換をしながら方針を明らかにしていきたい。

Q 住民参加のまちづくりについて。

A 意見交換は必須、かつ最も大事な事であるが、現在新型コロナウイルスの影響で地元住民との意見交換は出来ていない。今後、早急に意見交換の場を設けていきたい。



街中の休息空間 ちょっと一休み



JR 氏家駅東口 ロータリー

一般質問ここが聞きたい

一般質問ここが聞きたい



福田 克之 議員



Katsuyuki Fukuda

障がいを抱える当事者の近くにいる「きょうだい」の存在について

▶断らない相談窓口を設置

Q 障がいを抱える当事者の兄弟姉妹を指す「きょうだい」のうちヤングケアラーについて、市としての考え方を問う。

A 本市においてヤングケアラーの問題を受け止める場としては、最も身近な小中高等学校が中心となるが、こども政策課の相談窓口や要保護児童対策地域協議会、市内の障がい者相談支援事業所、福祉課内に設置している基幹相談支援センターにおいても、障がい等を抱える世帯の問題を包括的に受け止めている。

家族会などの民間団体とも連携を深め、ヤングケアラーへの理解促進を図り、支援につながりやすい環境を整えていきたい。

ヤングケアラー(子どもケアラー)

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている、18歳未満の子どものことです。

ケアが必要な人は、主に、障がいや病気のある親や高齢の祖父母ですが、きょうだいや他の親族の場合もあります。 ©一般社団法人日本ケアラー連盟2015



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている
家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている
障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている
目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている
障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている
家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている
アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している
がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている
障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている

また、何らかの支援を必要とする保護者や児童・生徒については、関係機関、関係課、学校と連携を取りながら、スクールソーシャルワーカーや臨床心理士、指導主事が中心となり対応している。



◎今後の対応について

A 今後、定期的に教育委員会学校教育課が中心になって情報を共有し、各学校で案件に関して開催されるケース会議、また関連することも政策課の会議にも出席し、情報提供や積極的に支援策に関わるよう、教育相談、教育支援にヤングケアラーの視点を加味し、教育機会の状況等の確認、支援の必要性などの把握に努めていきたい。

また、複雑な問題や複合的課題を抱える世帯からの相談を受け止める「断らない相談窓口」の設置準備を進めている。



小堀 勇人 議員



Hayato Kobori

お丸山地区と桜の郷づくりの今後の進め方について

▶お丸山全山プロジェクトとして整備に取り組んでいく

Q 具体的にこのエリアの活用をどうしたいのか。その整備手法についての検討は。

A お丸山公園を都市公園であるお丸山公園部分と、第5期エリア、南斜面や北東側斜面の平地林、黒木林、ホテルが立地をするエリアまで広く含めてその全体を、お丸山全山プロジェクトとして、将来に向けて市民に親しんでいただける地域資源発露の拠点として整備に取り組んでいきたい。

第5期エリアは、事業者の方々と意見交換しながら、周辺の宿泊施設や道の駅につれがわなどにもぎわいが波及し、リンクできるような整備を図りたいと考えている。そして、民間の知見、ノウハウを活用して民間と行政それぞれの役割を担う整備手法を令和3年度に決定する。



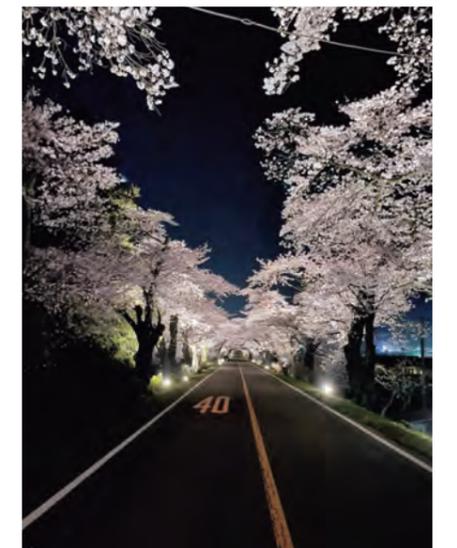
お丸山全山プロジェクト

Q 今後の桜の郷づくりの全体像は。

A 勝山公園の見本園整備事業では、その雄大な景色を楽しみながら、栃木の景勝100選のロケーションを満喫してもらえるような整備をしていく。また、ミュージアムに隣接する勝山城址、氏家ゆうゆうパーク、このエリアを一体的に考えながら、野外アートや自然の魅力にあふれた整備を考えていく。

お丸山の桜は、桜等の植栽とともに崩落の危険を伴う東側斜面の安全確保のための治山事業も含めて継続的に取り組み、後世にも喜ばれるようなプロジェクトにしたい。

また、早乙女桜並木の整備は、歩道や沿路も設置されより広大となったスペースを生かしていくためにも、植樹帯に草花を配するほか、斜面の景観形成を図っていく。併せて周辺に駐車場や憩えるスポットを追加整備することも考えて取り組んでいく。



見納めとなる桜並木(ライトアップ)



笹沼 昭司 議員



Shoji Sasanuma

防災・減災のための荒川浚渫事業について

▶荒川堤防の強靱化・連城橋左岸上下流370m事業化決定

Q 松島橋上流域から連城橋までの間には、松島、早乙女矢口、上坪、中坪など、河床が高く、洪水流下能力が不足している場所が見受けられる。県は、今後どのように取り組むのか。本市の認識は。

A 県は現在、計画断面に対する流下能力等の検証業務を実施しており、それを河川の拡幅や堤防のかさ上げ強化を含む事業の可能性について、県当局との検討にいかしていく。

Q 今後の荒川の浚渫事業予定は。

A 昨年5月から6月にかけて県矢板土木事務所、連城橋上流の堆積土砂、約1万m³の除去工事を行い、現在さらに上流側の早乙女、荒町付近でも、除去工事が行われている。

る。今後は、葛城橋上、連城橋上、新松島橋下において、4件の堆積土除去工事が行われる予定である。また、これまでのように河床をならすだけでなく、土砂の搬出も想定している。

Q 荒川堤防の強靱化計画は。

A 左岸側の重要水防箇所である連城橋上流部分110mに下流部分国道293号線までの260mを加えて、腹付け盛土で7mにする。県は予算も計上しているので、地元への説明会を急いでいる。

Q 治水対策としての田んぼダムについての考えは。

A 国は一定の面積の水田に自動給排水栓を設置し、スマートフォンやパソコンから遠隔操作ができる仕組み、いわゆるスマート田んぼダム実証事業を検討しており、さくら市も今後研究していく。



松島橋下流から臨む



連城橋下流から臨む



加藤 朋子 議員



Tomoko Kato

ひとり親家庭支援拡充について

▶研究、研修を重ねながら、有効な支援に取り組んでいく

Q コロナ禍による家計急変から「ひとり親世帯臨時特別給付金」の新たな給付対象となった世帯数は、制度の周知は、どう行ったのか。

A 申請件数は33件。個別通知及びホームページ、広報等で周知した。

Q 離婚問題に精通した弁護士が相談業務を行うつつ、家族をサポートする制度を設け、相談業務費用の一部助成を行っては。

A 母子、父子自立支援員兼婦人相談員2名をこども政策課に配置して様々な相談に応じている。

Q 全国の養育費受給母子世帯は24%。養育費の取決をしていない母子世帯は54.2%。養育費確保のための弁護士相談、養育費取決めに関する公的書類作成、養育費保証会社の保証料等を助成する考えは。

A 養育費確保には裁判所の調停を介して明確にしておくことが有効。県ひとり親家庭福祉連合会のひとり親法律相談、県男女共同参画センターの法律相談、本市の法律相談などの利用を引き続き促す。

Q 親を亡くした児童を対象に、専門家や専門機関によるカウンセリングを行うグループケアを行っては。

A 先進事例等を参考に研究を重ねる。



● 議会レポート

■ 県北五市議長会議

2月19日
 県北五市（大田原・矢板・那須塩原・さくら・那須烏山）
 ・渋井 康男 議長
 ・大河原 千晶 副議長

■ 各種委員会等出席

● 総合計画審議会
 1月8日
 ・小堀 勇人 総務常任委員長
 ・岡村 浩雅 文教厚生常任委員長
 ・石原 孝明 建設経済常任委員長

● 表彰審査委員会
 1月21日
 ・渋井 康男 議長
 ・大河原 千晶 副議長
 ・小堀 勇人 総務常任委員長

● 保育園運営審議会（書面決議）
 ・加藤 朋子 議員
 ・鈴木 恒充 議員

● 都市計画審議会
 3月8日
 ・櫻井 秀美 議員
 ・福田 克之 議員

● 環境審議会
 3月10日
 ・岡村 浩雅 議員

■ 監査

● 定例監査
 1月29日、
 2月3日、4日、8日
 ・石岡 祐二 議員

● 例月現金出納検査
 1月26日、
 3月1日、25日
 ・石岡 祐二 議員

■ 塩谷広域行政組合議会定例会

2月9日
 ・渋井 康男 議長
 ・永井 孝叔 議員
 ・石岡 祐二 議員
 ・鈴木 恒充 議員
 ・矢澤 功 議員

● 議会の動き

1月

7日 議会広報委員会
 8日 総合計画審議会
 14日 議会広報委員会
**18日 議員全員協議会
 議会運営委員会
 第1回臨時会**
 19日 新型コロナウイルス感染症対策会議
 20日 議会広報委員会
 21日 表彰審査委員会
 26日 例月現金出納検査
 29日 定例監査

2月

**2日 議員全員協議会
 議会運営委員会**
 選挙管理委員会委員及び補充員の推選委員会
 3日 定例監査
 4日 定例監査
 8日 定例監査
 9日 塩谷広域行政組合議会定例会
**12日 議員全員協議会
 議会運営委員会
 第2回臨時会
 議会活性化特別委員会**
 選挙管理委員会委員及び補充員の推選委員会

15日 全国市議会議長会 社会文教委員会（書面決議）
 18日 自治功労者表彰式
 19日 県北五市議長会議
**22日 第1回定例会開会
 議員全員協議会
 議会広報委員会**
24日 第1回定例会一般質問
25日 第1回定例会一般質問

3月

1日 例月現金出納検査
2日 第1回定例会予算審査特別委員会（総務所管）
3日 第1回定例会予算審査特別委員会（文教厚生所管）
4日 第1回定例会予算審査特別委員会（建設経済所管）
5日 第1回定例会総務常任委員会
8日 第1回定例会文教厚生常任委員会
9日 第1回定例会建設経済常任委員会
**15日 議会運営委員会
 議員全員協議会
 第1回定例会閉会**
 22日 栃木県知事への陳情書提出
 23日 国体実行委員会第2回常任委員会
 25日 例月現金出納検査

どうなったんべ あの質問



議員が行った一般質問は、市政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から取り上げて、その後の状況をお知らせします。

商店街の 景観・ホスピタリティ 向上事業について

令和2年 第1・3回定例会
 令和元年 第3回定例会

現状は…

さくら市では、まちづくりの第一人者として数々の実績のある東京大学名誉教授堀繁氏が理事を務める「まちの魅力づくり研究室」に業務を委託し【商店街の景観・ホスピタリティ向上事業】を実施しています。

魅力的な店前景観を整備推進し、お店への立ち寄り率向上を図る取り組みや、店内を居心地のいい空間に演出し客単価向上を図る取り組みを行い、現在までに22店舗のデザインを作成し、うち11店舗が補助金を活用し店舗改修等を実施しています。

また、商店街に多くの方に足を運んでもらうための仕掛けとして効果的な道路整備や、観光客等が気軽に休憩をとることができ、賑わいを演出できるような滞留空間整備を行う取り組みを実施し、現在までに氏家駅周辺に3か所の滞留空間が完成しました。



以前の氏家駅前

今後は…

店前景観等のデザイン作成は、最終年度の3年目を迎えますが、並行して店舗改修等も進め、モデルとなる店の奨励や取り組みが更に広がるよう推進を図っていきます。

また、道路舗装はまちの印象を大きく左右する重要なものであるため、工夫を凝らしたデザインで、氏家駅東口を降りた方を商店街やさくらテラスに誘うような舗装工事を実施する他、滞留空間の整備についても地域の方々と意見交換しながら計画的に推進していきます。

本事業により、中心となる市街地への求心力や魅力の向上を図ることで、商店1件1件の売り上げ増の実現を目指します。



駅前の滞留空間「テラス楽～座」



氏家子どもおはやし会



けんもく ゆか
見目 裕香 (押上)

私たち氏家子どもおはやし会は、さくら市内の小学校1年生から中学校3年生で活動をしています。

夏季、冬季お休みはありますが、毎週水曜日18:45~20:00まで、氏家公民館で氏家お囃子会の方々のご指導のもと、夏祭りやイベント等にむけて練習をしています。

しかし今、氏家子どもおはやし会は人数が少なく、今後の活動において、存続の危機に直面しています。

子どもたちのため、そしてこの大切なおはやし会という伝統文化をこの先も残していくために、親の会もがんばっているところです。コロナ禍で祭りやイベントが中止される中、子どもたちは一生懸命練習をしています。今後子どもおはやし会を存続させるためにも、少しでも太鼓に興味があるお子様がおりましたら、気軽に見学に来てください。早く子どもたちがお祭りで太鼓を披露できますように願っています。



活動の様子

お知らせ

次回 6月定例会予定
6月3日(木)~6月21日(月)

◎正式な日程は、後日開催する議会運営委員会にて決定いたします。

- **議員年金について**
平成23年6月1日をもって廃止されました。
- **政務活動費について**
さくら市議会は支給されておりません。

《表紙写真》

氏家子どもおはやし会

小中学生なら誰でも大歓迎！
まずは見学に来てください。

【連絡先】

080-4438-8928 (村上)
受付時間 9:00~12:00

議会だよりでは、表紙写真のモデルになってくださる団体さんを募集しています。ご興味がある方はさくら市議会までお問い合わせください。

議会広報委員会



高瀬 一徳 福田 克之 石原 孝明 吉田 雄次 榎本 浩雅 岡村 浩雅
小堀 勇人 副委員長 加藤 朋子 委員長 大河原 千晶 角田 憲治

本号の掲載写真は、撮影時のみマスクを外しております。